



# 看護連盟だより 73 号に寄せてご挨拶



栃木県看護職の皆様には日頃より看護連盟活動に深いご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

この度、通常総会にて承認をいただき会長に就任いたしました小倉佳子と申します。

看護協会の看護師職能委員長を経験させていただき、少子高齢社会における看護職の確保や、資質の向上と就業継続の促進、働き方改革を進めるうえでのタスク・シフト/シェア、そして看護職の処遇改善の推進などの検討に参加いたしました。看護職の就業環境改善のために、コロナにより看護師の存在意義が国民に周知されたことを追い風に国会議員の方々が機を逃さず政策提言し、処遇の改善や 30 年ぶりの「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の改定につながりました。

これからも看護協会と看護連盟は、それぞれの役割を發揮し、車の両輪のように連携・活動して参ります。会員の皆様も看護職の代表を国政の場に送り政策実現につなぐため共に邁進して参りましょう。



栃木県看護連盟会長

**小倉佳子**

新型コロナウイルス感染症が確認され、医療・看護提供体制に係る様々な課題が顕在化し、看護職の存在の重要性が認識されました。そして、2022 年以降看護職の処遇改善に追い風が吹くことになりました。

2023 年には「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が制定以来約 30 年ぶりに改定され、量的確保と資質の向上を図りながら、これからの看護職の確保を推進するための方向性が示されました。

さらに、2024 年の診療報酬改定では、医療関係職種の処遇改善に向け「ベースアップ評価料」が新設されました。これら制度の創設や改正は、看護連盟と看護協会が連携して活動してきた成果でもあると考えます。

2023 年度日本看護連盟総会において、「石田まさひろ参議院議員」が次期参議院の組織内候補予定者に決定いたしました。石田議員には看護職の処遇改善の実現に大いに尽力していただきました。高得票で国政の場へ送り出すことが、政策実現に向けての近道です。「数は力」です。よりよい看護の実現に向けて、力を合わせましょう！



日本看護連盟会長

**高原静子**

いつも大変お世話になっております。国会で「政治とカネ」が問題になり、看護連盟の皆様には物価高や人員不足等の厳しい中にありながら、私の活動を支えていただき心から感謝申し上げます。文部科学副大臣（主として教育・スポーツ分野の統括）として公務を行いつつ、衆議院議員としての政務にも励んでいます。「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応・不登校の課題・過疎地における学校の存続問題・地域に残る人材育成のための専門高校の発展など今まで以上に現場を見、声を聞き取り組んで参ります。看護職の活動もパンデミックや災害時は勿論のこと、保健・医療・福祉分野で多様化、多機能化しています。そして、今後さらに人口減少と高齢化が進むことを考え DX の活用や、柔軟に働くことができる環境改善が求められると考えます。全国に足を運ばせていただき、国政からできることを精一杯行っていきます。これからもご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



衆議院議員

**あべ俊子**



衆議院議員

## たかがい 恵美子

向暑の候、健やかに過ごしのことと存じます。トリプル改定への対応で繁忙を極める中、栃木県看護連盟の皆様には平素変わらず、看護政策の推進に多大なご貢献を賜り誠にありがとうございます。国会では、能登半島地震被災地の復興を進めるにあたり、様々な社会課題に対応する新たな政策方針の議論が白熱しています。女性政策では、「女性の健康・医療科学に関する施策パッケージ」の展開、女性特有の疾患や性差医療に関する研究開発等を推進する「女性の健康ナショナルセンター」創設など、これまで取り組んできました女性の生涯の健康に関する政策が形となりました。ヒトのいのちに寄り添って生きる力を守り支えるプロとして、看護職への関心も一層高まることでしょう。各々が楽しく豊かに堂々と暮らせる未来を創るため、皆様のさらなるご健勝を願いつつ、これからも現場最優先で安定感のある政治活動に努めます。



参議院議員

## 石田 昌宏

栃木県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

予算委員会と厚生労働委員会にて質問の機会をいただきました。

予算委員会では、人口減少地域における看護師不足対応や、人口減少社会に不可欠な看護職員の生涯教育システム等を資しました。特に、ナースセンター自らが雇用した看護職員を危機的な医療機関へ派遣する事業の検討を厚生労働大臣に訴えました。

また、厚生労働委員会では、働き方改革が進む中で、交代制夜勤の看護職の健康問題、行き過ぎた実質配置の記録による業務への負荷等、現場で発生している課題への対策を求めました。

引き続き、現場の声を受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら、看護職が「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりのために尽力してまいります。



参議院議員

## 友納 理緒

栃木県看護連盟の皆さまこんにちは！

現在、通常国会が開会しています。参議院では厚生労働委員会委員、自民党ではデジタル社会推進本部こども・子育て DXPT 事務局長、政治刷新本部政治資金規正法改正ワーキンググループなど重要な役割をいただいています。看護職、看護師、女性、若手、子育て真っ只中など、多様な側面を持つことが私の特色です。その役割をしっかりと果たし、意見を述べていきたいと思っております。

先日、予算委員会で質問をさせていただきましたが、医療機関における夜勤人員確保は喫緊の課題です。また、地域では訪問看護や看多機をはじめ、看護職の役割を期待されつつ、制度上の課題に直面しているものもあります。ハラスメントの問題も継続した課題ですが、訪問看護の防犯対策について進展もありました。

引き続き、看護職を取り巻く課題の解決に向けて取り組みます。どうか皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



足利市議会議員

## 中島 まゆみ

栃木県看護連盟の皆さまにおかれましては益々ご健勝のことと存じます。

5月に開催された2024年度ポリナビワークショップ(30代研修)に於いて「看護と政治」を表題に講演をさせていただき機会をいただきました。

私たちが暮らす街をより住みやすく変えていくためには、医療や看護環境の継続的な改善はもちろんのこと、私たち一人ひとりが自分の住む街に関心を持ち、率直な声を上げて頂くことがとても重要です。

私は市民に一番近い政治家・市議会議員として、看護師の経験を活かしながら、皆様の声や意見を真摯に受け止め、県や国の先生方と連携しながら、地域の看護ケアの向上に向けた政策や明るい社会実現に向けた取り組みを今後も着実に反映させていきたいと考えております。

看護連盟の皆様との協力関係を一層強化し、地域社会全体の健康づくりに取り組んでいくため、皆様の専門知識や経験、お知恵をお貸しいただけるよう、引き続き協力をお願い申し上げます。